

# 立教映像身体学研究

第5号

目次

## 査読論文

### 〈詩人〉の肖像

—— *Nuestro cine* におけるビクトル・エリセの  
批評活動についての考察

三宅 隆司 〇〇1

ジョン・カサヴェテス『オープニング・ナイト』における  
画面上の身体存在論

—— 加齢・接触・転倒の主題をもとに

早川 由真 〇27

## 特集

前田英樹教授を送る

佐藤 一彦 〇51

前田英樹教授 退職記念インタビュー

自身の仕事を振り返り、映像身体学への期待を語る

インタビュアー・構成 日高 優 〇55

前田英樹教授業績一覧

〇65

解題

『剣の法』

加藤 千恵 〇71

『定本 小林秀雄』

日高 優 〇74

『ヘルクソン哲学の遺言』

山本 尚樹 〇78

『小津安二郎の家 持続と浸透』

三宅 隆司 〇83

『映画=イメージの秘蹟』

三宅 隆司 〇85

『セザンヌ画家のメチエ』

『絵画の二十世紀：マチスからジャコメッティまで』

瀬崎 元嵩 〇86

## 講演採録

アントナン・アルトー生誕120周年企画

『抵抗と再生 A・アルトーの映像と身体』

はじめに

〇93

講演採録

テキストの多様性

—— アルトーの魅力と難しさについて

堀切 克洋 〇95

骨と血からなる〈非-存在〉

江川 隆男 108

アルトーの出現によって何が変化したのか

宇野 邦一 118

## 書評

『映像と文化——知覚の問いに向かって』

前田 英樹 131

論文英文要旨 135

2016年度映像身体学専攻修士論文、及び修了制作・副論文題目 136

編集方針・第5号投稿規程 137